

コンピュータプレゼンテーション

- ◆水曜日4時限目：陶山先生、杉元先生
- ◆水曜日4時限目：日高（邦）先生、森山先生
- ◆金曜日1時限目：吉田先生、平栗先生

履修登録

◆各自、履修登録をしてください

◆履修方法

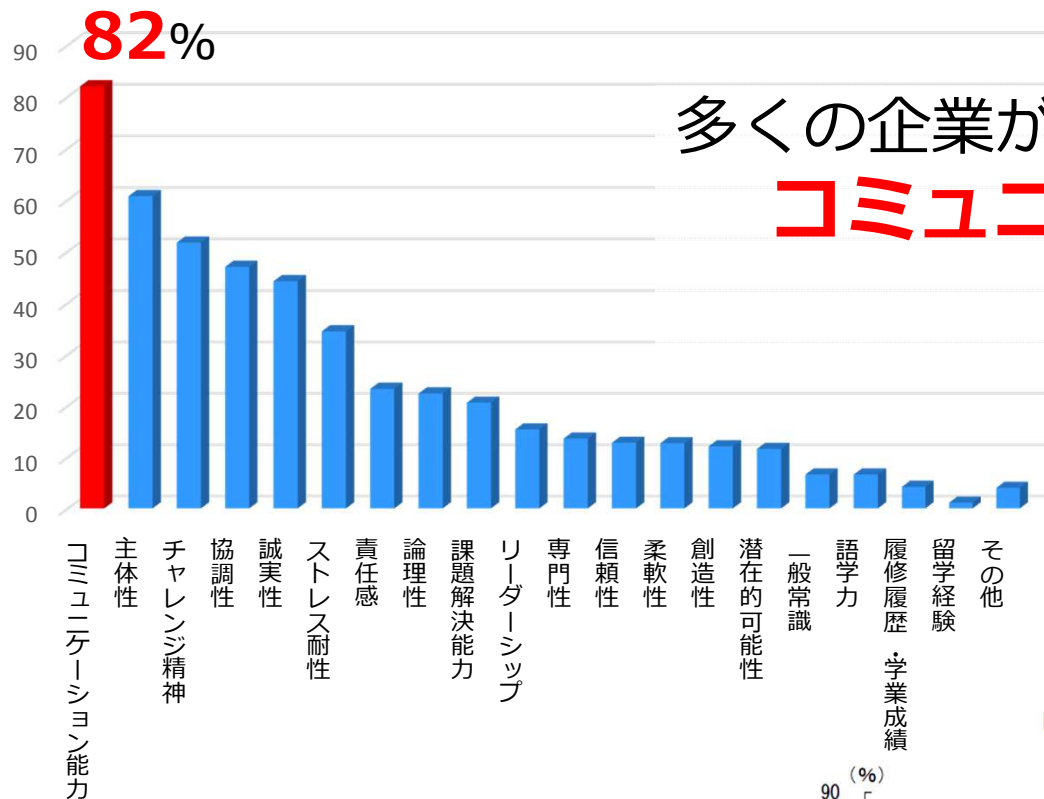
履修登録を行う前に、必ずUNIPA掲示（既に掲示済み）を確認し、自分が割り当てられたクラスで履修登録を行ってください

※やむを得ない事情で割り当てられたクラスの曜日・時限に履修登録できない学生は、至急、佐藤先生（satok@mail.dendai.ac.jp）に連絡し、クラス（曜日・時限）変更を申し出ること。

目的・概要

- ◆ 実社会では、自分の意見やアイデア、成果、進捗状況などを複数名からなる**聴衆の面前で与えられた時間内にわかりやすく説明（プレゼンテーション）**することが要求される。
- ◆ 自分や他者のプレゼンテーション内容について**質疑応答や討論を行う**ことも求められる。
- ◆ 本科目では、**コンピュータを活用したプレゼンテーション技術の習得**ならびに**電気電子工学を基礎とした討論能力の涵養**を目的とする。

企業が選考の上で重視する項目



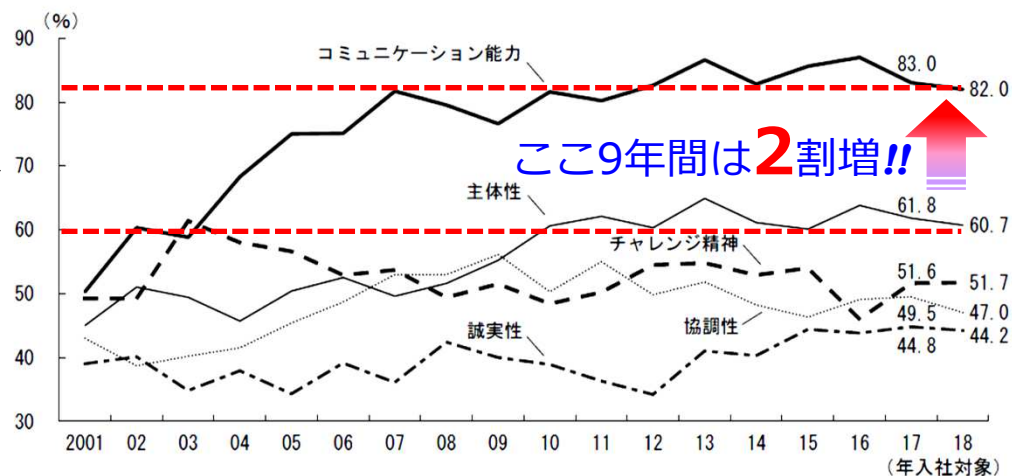
多くの企業が

コミュニケーション能力

を重視!!

(社)日本経済団体連合会「2017年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」2017年11月27日公表

「選考時に重視する要素」の上位5項目の推移



第1位：コミュニケーション能力 (15年連続)

目的・概要

- ◆ 本科目の学習・到達目標は、**(F) コミュニケーション/プレゼンテーション能力を向上**させることである。
- ◆ 履修者は、共通テーマ1と2について、
 - 1. ソフトウェアを用いて発表資料を事前に作成し、定められた時間内でコンピュータを用いて口頭発表**する。
 - 2. 自分の発表に対する質疑に適切に応答**する。
 - 3. 他者の発表に対して電気電子工学分野の基礎知識を基に質疑や講評**を行う。

達成目標・評価方法

1. ソフトウェアを用いて**適切な発表資料の準備**を行える。(30点評点)
2. 定められた時間内でコンピュータを用いて**適切に口頭発表**を行える。(30点評点)
3. 自分の発表に対する質疑に**適切に応答**を行える。(10点評点)
4. 他者の発表に対して、電気電子工学分野の基礎知識を基に**質疑や講評**を行える。(30点評点)

各目標に対して、**1、2、4の目標が6点未満（30点満点）**、**3の目標が2点未満（10点満点）**の場合は**不合格**とする。

質問への対応

◆ 水曜日4時限目

- 陶山先生 : suyama@cck.dendai.ac.jp、11304A室
- 杉元先生 :
hiroya_sugimoto@mail.dendai.ac.jp、
40515 室

◆ 水曜日4時限目

- 日高（邦）先生 : kuni.hidaka@mail.dendai.ac.jp、
11302A室
- 森山先生 : 21569@ms.dendai.ac.jp

◆ 金曜日1時限目

- 吉田先生 : tyoshida@mail.dendai.ac.jp、40815B室
- 平栗先生 : hirakuri@mail.dendai.ac.jp、11315A室

発表のための スライドデザイン

参考資料
ブルーバックス 新書
2013/4/19
宮野 公樹 (著)

スライドの作り方

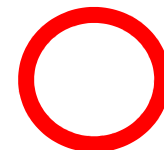


- ◆ 相手が**見やすい・理解しやすい**スライド
- ◆ **ポイント事項のみ**を記載!!
- ◆ ポイントとなる**キーワード**を強調!!
- ◆ **イラスト**などを使用!!
- ◆ **出典の記載**を忘れずに!!

スライドの作り方～整理～



スライド内容が相手に伝わらなければなんの意味もありません。できるだけメッセージは短く、簡潔にすることが大切です。



◆見やすいスライドの心得

◆短く、簡潔に!!

ポイントを簡条書きにする

スライドの作り方

～コントラスト・色付け～

× ○

すべての人が現在の生活に不満を感じておらず、将来の自分の生活に対する脅威がない社会

- ◆ 不満のない生活
- ◆ 将来に向けて**脅威のない社会**

重要な部分のみ**太く**し、
キーワードのみに**色**をつける

×スライドの作り方～色付け～

(1) 科学者同士のネットワークを強化

Emergency mapやその他優れたデータ・ソリューションを生み出すためにグローバルな協力体制の確立

→条件①達成

(2) Emergency mapを用いた教育コンテンツの作成

e-learning用のフリーコンテンツとして全世界に配信

(途上国にはODAで情報インフラ整備)

→条件②達成

(3) 「Sustainability 先進国」としてブランディング

日本国内での教育および環境配慮型の技術の推進によって、環境意識の向上と環境負荷の軽減

→説得力UP!

○スライドの作り方～色付け～

1. 科学者同士のネットワークを強化

Emergency mapやその他優れたデータ・ソリューションを生み出すためにグローバルな協力体制の確立

→条件①達成

2. Emergency mapを用いた教育コンテンツの作成

e-learning用のフリーコンテンツとして全世界に配信
(途上国にはODAで情報インフラ整備)

→条件②達成

3. 「Sustainability 先進国」としてブランディング

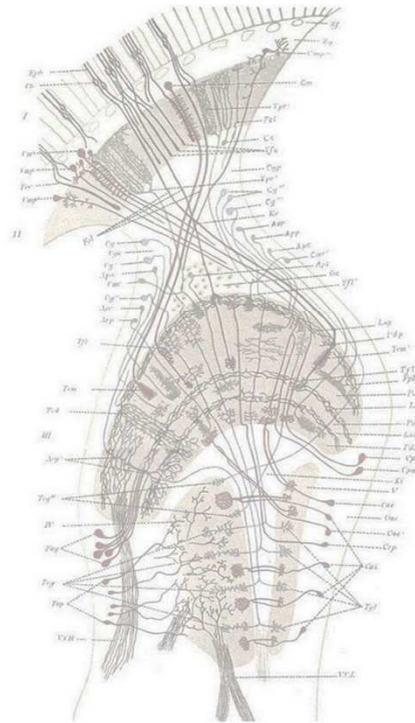
日本国内での教育および環境配慮型の技術の推進によって、
環境意識の向上と環境負荷の軽減

→説得力UP!

スライドの作り方～配置～



メダラ神経節



<http://fsosato.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

層構造、カラム構造
60種以上、40,000個の神経



神経細胞の多様性は、
如何にして生み出される？

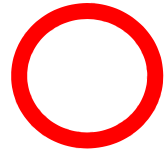
それぞれの領域からは、特定の
種類の神経が作られる。
(Hasegawa et al., 2011)



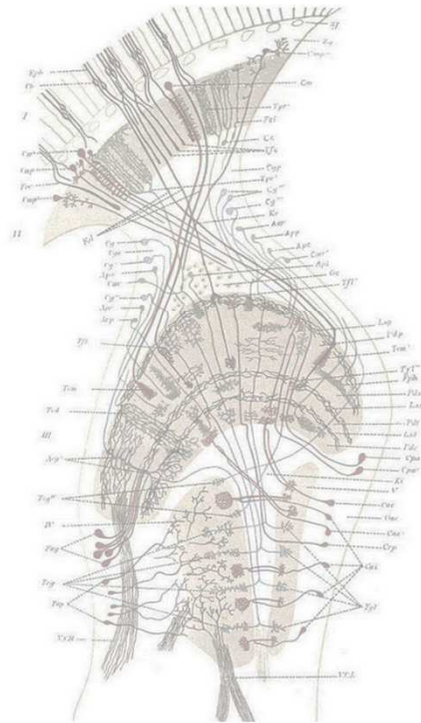
メダラを区画化することによって、
多様な神経細胞を産生している？

相手に**不快感を与え**、印象が悪い

スライドの作り方～配置～



メダラ神経節



層構造、カラム構造
60種以上、40,000個の神経



神経細胞の多様性は、
如何にして生み出される？

それぞれの領域からは、特定の種
類の神経が作られる。
(Hasegawa et al., 2011)



メダラを区画化することによって、
多様な神経細胞を産生している？

縦軸にしっかりと揃える

スライドの作り方～イラスト～



電力の特殊性

貯蓄できないので、常に需給バランスを調整する必要がある。必需財的な性格があり、どんな場合でも電力供給が必要となる。設備投資は、大規模、長期間になるため、難しい。

大事なポイントが**わかりにくい**

スライドの作り方～イラスト～

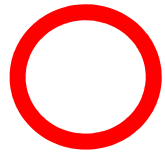


電力の特殊性

1. 貯蓄できない
→常に需給バランスを調整
2. 必需財的性格
→どんな場合でも電力供給
3. 設備投資が難しい
→大規模、長期間

文字のみで各ポイントがイメージしにくい

スライドの作り方～イラスト～

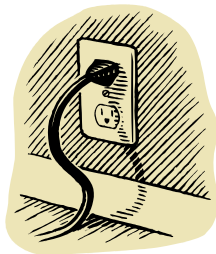


電力の特殊性
3つのポイント

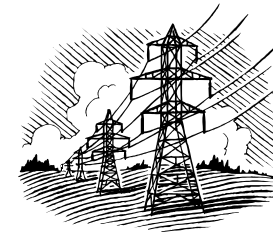
1. 貯蓄できない
→常に需給バランスを調整



2. 必需財的性格
→どんな場合でも電力供給



3. 設備投資が難しい
→大規模、長期間



ポイント事項には**イラスト・写真等**を用いる

スライドの作り方～出典の記載～



◆ 図書 和書

小笠原喜康、大学生のためのレポート・論文術、講談社、
pp.43-73、2002

洋書

Wilga Rivers, Teaching Foreign Language Skills,
University of Chicago Press, p.82, (1981)

イラストには**出典**を記載する

スライドの作り方～出典の記載～

◆ 論文 和文

長谷川祐、青山康明、リニアモーターの過渡特性評価手法、電気学会論文誌D、Vol.137、pp.540-545、2017年

英文

T. A. Knightley, Emma Woodhouse and Her Rival Characters, English Literary Review, 133, p.1-15, (1914)

◆ Webページ

<http://www.jst.go.jp/SIST/handbook/sist02/sist02.htm>

イラストには**出典**を記載する

文章・文字の見せ方



◆ **行数・行間・改行**に配慮!!

◆ **字体**にはこだわらない!!

◆ **数字**は強調!!

◆ **行頭記号**は抑える!!

文章の見せ方～行数・行間～

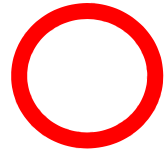


行間について (行間0.0)

貯蓄できないので、常に需給バランスを調整する必要がある。必需的な性格があり、どんな場合でも電力供給が必要となる。設備投資は、大規模、長期間になるため、難しい。

文字が詰まりすぎのため、**読みにくい**

文章の見せ方～行数・行間～

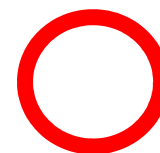


行間について (行間1.3)

貯蓄できないので、常に需給バランスを調整する必要がある。必需財的な性格があり、どんな場合でも電力供給が必要となる。設備投資は、大規模、長期間になるため、難しい。

文字サイズの**1.3倍くらい**が読みやすい

文章の見せ方～改行～



本研究の目的

高機能ACD児と関わり手の自然会話における発話特徴を分析し、関わり手の発話特徴に対する介入を行う。介入前後の発話の特徴の量的、質的変化を比較する。

本研究の目的

◆発話特徴の分析

高機能ACD児と関わり手の自然会話



◆関わり手側への介入

介入前後の発話の量的・質的変化の比較

体言止めにして、**簡潔**にする

文字の見せ方～字体～

× { 内発的動機づけが重要
内発的動機づけが重要
ポスターやチラシならOK!!
内発的動機づけが重要

○ 内発的動機づけが重要

読みやすいゴシック体にする

文字の見せ方～数字～

× 300% ○ 300%

×

1000万kWの大規模な供給電力不足

○

1000万kWの大規模な供給電力不足

単位を数字の6割程度の大きさにし、
数字を強調する

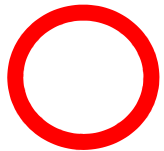
文字の見せ方～行頭記号～



- 電子スピン共鳴法
- 非破壊かつ選択的にラジカルを検出
- 電子スピン
- 電子の自転のようなもの
- 磁石のような性質がある

◆ 電子スピン共鳴法

- ✓ 非破壊かつ選択的にラジカルを検出



◆ 電子スピン

- ✓ 電子の自転のようなもの
- ✓ 磁石のような性質がある

項目に合わせて、**行頭記号**で上下関係
に変化を与える

表・グラフ・写真・図の見せ方



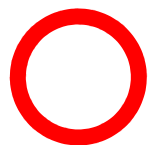
- ◆ 表では**罫線**に配慮!!
- ◆ グラフでは**数値**を強調!!
- ◆ 写真では**重要な個所**を強調!!
- ◆ 図では**イラスト**を揃える!!

表の見せ方～罫線～



	スピン密度 [m ⁻³]	体積 [m ⁻³]	スピン個数
従来法	1.4×10 ¹⁷	10 ⁻⁷	1.4×10 ¹⁰
インダクタンス体積	5×10 ²¹	2.5×10 ⁻¹³	1.3×10 ⁵
VCO	1.1×10 ¹⁹	2.5×10 ⁻¹³	2.7×10 ⁶

すべての縦横の罫線があると**目障り**に見える



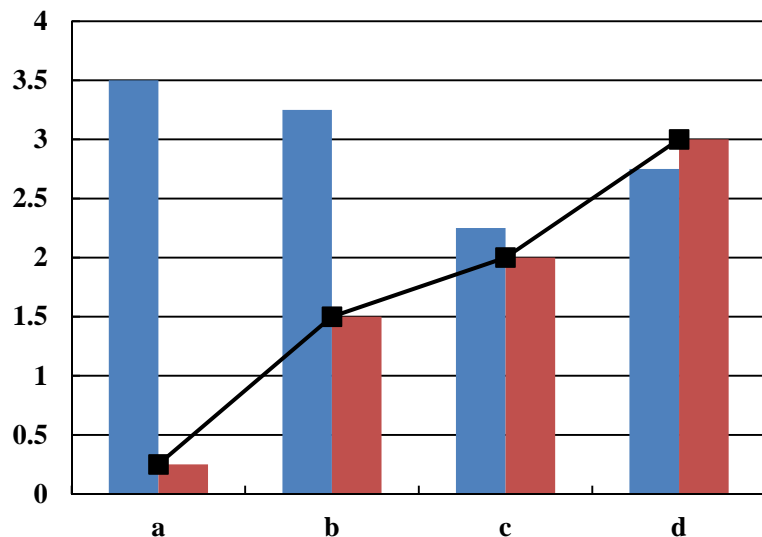
	スピン密度 [m ⁻³]	体積 [m ⁻³]	スピン個数
従来法	1.4×10 ¹⁷	10 ⁻⁷	1.4×10 ¹⁰
インダクタンス体積	5×10 ²¹	2.5×10 ⁻¹³	1.3×10 ⁵
VCO	1.1×10 ¹⁹	2.5×10 ⁻¹³	2.7×10 ⁶

従来比

2倍!

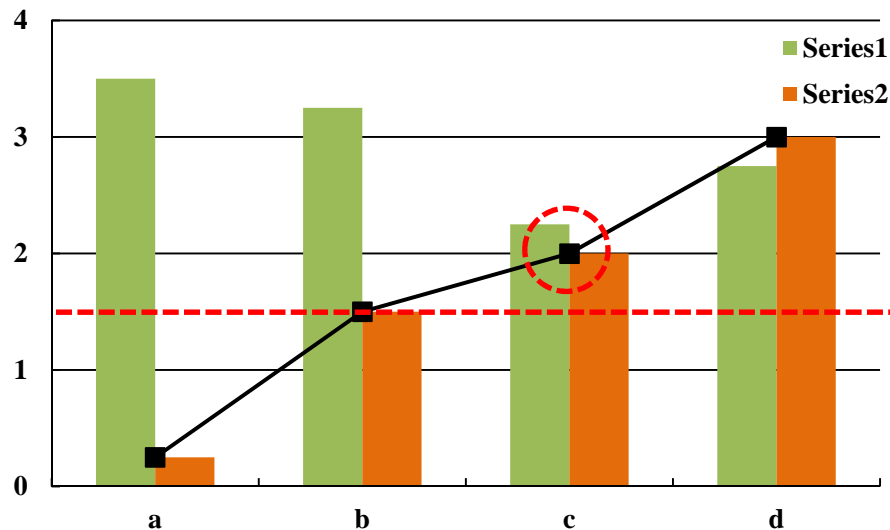
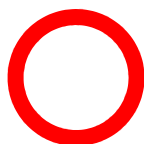
表の**最後**に罫線を引く

棒グラフの見せ方～数値～



軸目盛りを細かくしない

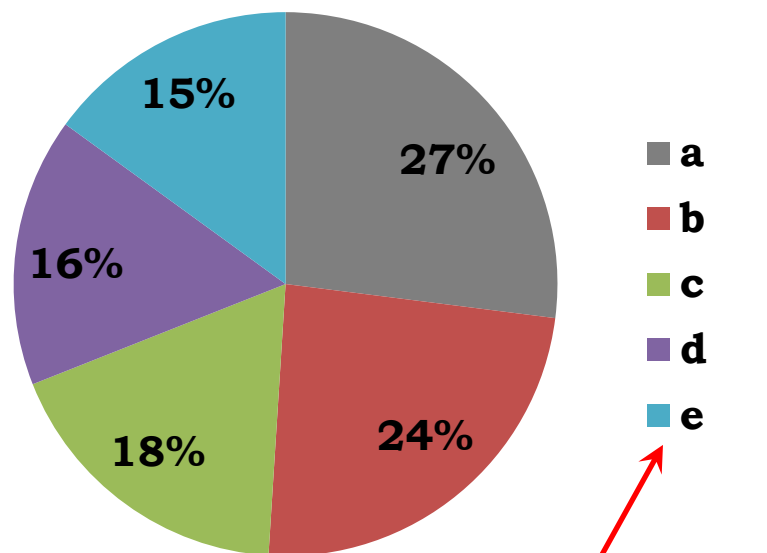
凡例はグラフ内に移動



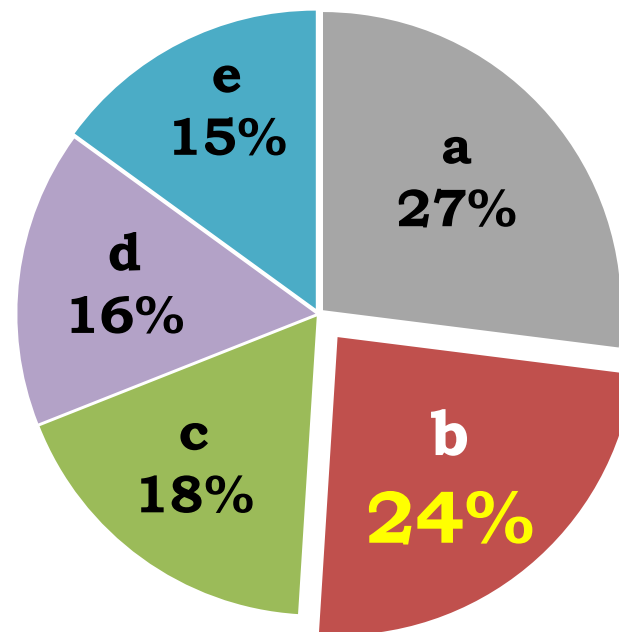
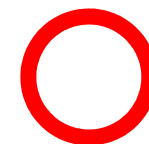
2倍の増加を明確に伝える表示

注目させたい箇所に目線を導く工夫を入れる

円グラフの見せ方～数値～

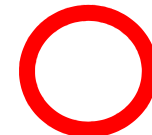
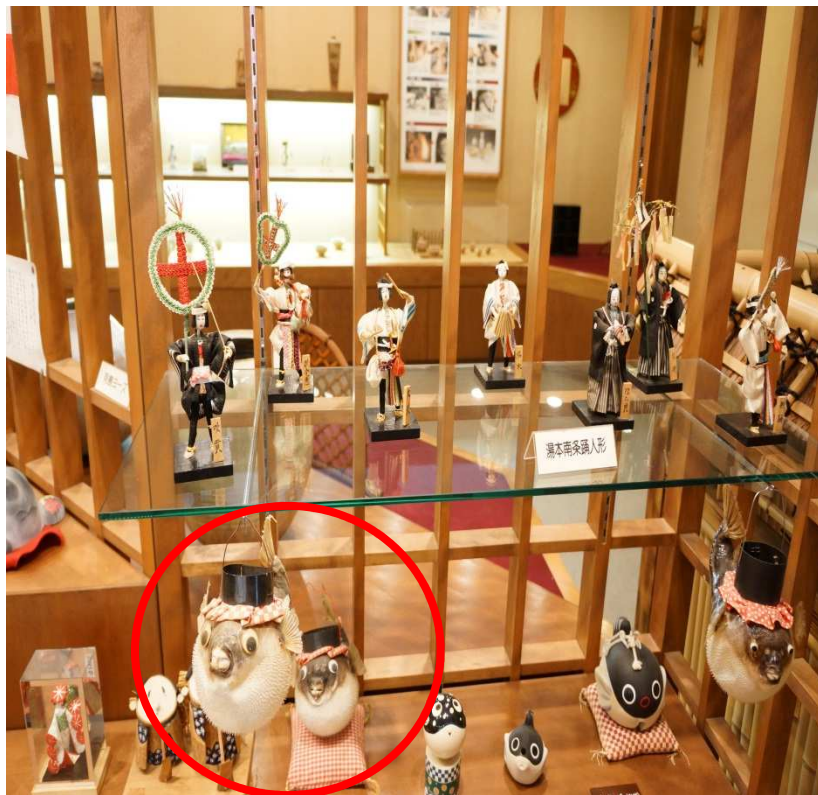


凡例は非表示にして、各要素の上に表示させる



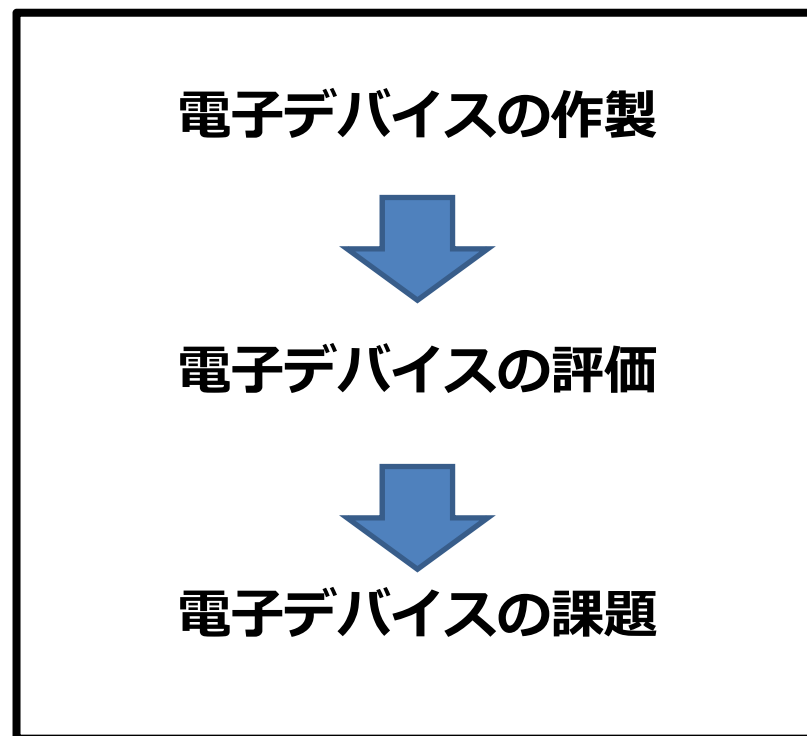
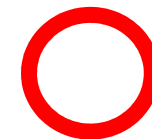
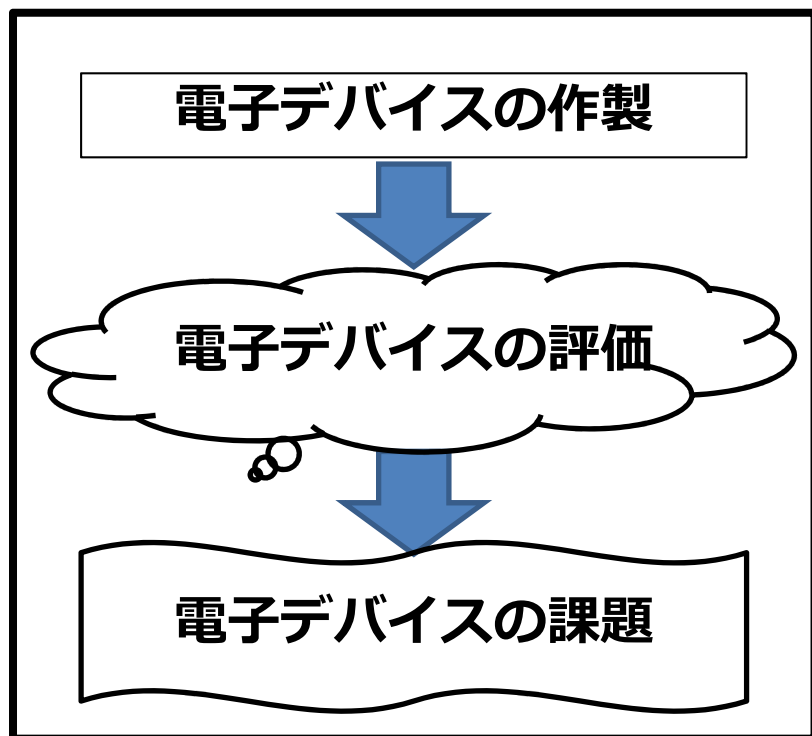
注目させたい箇所を**中心からずらして表示**する

写真の見せ方～場所～



伝えたい箇所を中心に構図する

図の見せ方～イラスト～



バラバラだと相手に**不快感を与える**ので、
同じテイストのイラストで**統一する**

発表テーマ

◆共通テーマ1：「商品紹介」

- ✓ どんな商品でも可
- ✓ 必ず2~3つの商品と比較すること
- ✓ 国内以外に海外に関する商品を含む場合には、**海外情報**を含めること

内容

- ◆ 取り上げた理由
- ◆ 調査報告
 - ✓ どういう商品なのか（歴史的背景、イメージ、アンケート集計等）
 - ✓ 知ってほしいこと（商品紹介、他社・海外メーカーの商品比較（メリット・デメリット）、商品のアピールポイント）
 - ✓ 専門用語の解説
- ◆ 使用経験があれば、その経験話（裏情報等）

発表テーマ

◆共通テーマ2：「企業」

- ✓ 必ず2~3社を比較すること
- ✓ 国内以外に海外の企業を含む場合には、**国内外の情報**を含めること

内容

- ◆ 興味・関心があった理由
- ◆ 調査報告
 - ✓ どういう企業なのか（沿革、業種、事業内容、所在地等）
 - ✓ 知ってほしいこと（製品紹介、他社・海外メーカーとの製品比較（メリット・デメリット）・関連性）
 - ✓ 専門用語の解説
- ◆ 調査してみたての意見

プレゼン資料の提出

- ◆ パワーポイント資料は6スライド/枚を片面印刷し、下記グループ教員の副手に発表
回の前日17時までに提出してください。

陶山先生・杉元先生クラス：

高瀬君（陶山研；1号館13階11301室）

日高（邦）先生・森山先生クラス：

山下君（加藤研；1号館13階11303室）

吉田先生・平栗先生クラス：

立川君（吉田研；4号館8階40816室）

第2回目の講義日

第2回目の講義日は以下になります。

陶山先生・杉元先生クラス：水曜日4時限目

第2回目実施日：9月25日（水）

日高（邦）先生・森山先生：水曜日4時限目

第2回目実施日：9月25日（水）

吉田先生・平栗先生：金曜日1時限目

第2回目実施日：9月20日（金）

ご清聴ありがとうございました